

編笠山(2524m)山行報告



【山行日】2016年10月23日(日) 晴れ

【集合】岩舟支所P AM 4:00

【費用】マイカー1台 : 3,400円

【メンバー】CL:鈴木ユ 大西、島田、関、津佐、藤原、渡辺ト

【コースタイム】岩舟支所P4:00=観音平P7:00/7:20~

雲海 8:20~押手川 9:10~編笠山 10:45/11:00~

青年小屋 11:30/12:10~押手川 13:10~雲海展望台

13:40/13:45~展望台 14:15~観音平P14:35/14:45

=岩舟支所P19:00

八ヶ岳連峰の最南端に位置し、富士山や南アルプスの展望が素晴らしい編笠山を計画した。上信越道から中部横断道佐久南ICで降り、国道141を通り八ヶ岳高原ラインから観音平の駐車場に着く。駐車場はすでに満車だったが、奥の隅に何とか駐車することが出来た。トイレを済ませ、ストレッチを行い出発する。登山口に設置された登山届ボックスに計画書を出し、指導標に従って登山口から登り出す。クマザサの登山道を登ると、ドウダンやヤマモミジの紅葉が美しく疲れを癒してくれる。ワンピッチで雲海に着き、休憩を取ってグレープフルーツで水分を補給する。ここからはカラマツやダケカンバ、シラビソ等の暗い樹林帯を登るようになる。岩がちの道を登るようになると、押手川の小平地に着く。右に行くと青年小屋へ直行するが、左へ県境尾根を北に向かって登る。岩がちのゴヨウマツ、ダケカンバ、ツガの中の急登を登り、振り返ると富士山や南アルプスの山々が木々の間から見える。段々と急な岩場の登りとなり、登るのが大変になる。鉄梯子を越え、ハイマツの中の岩溝を直登して行くと、岩原の中に編笠山の標識が立つ山頂に着く。山頂からの眺望は素晴らしく、目の前に赤茶けた荒々しい稜線が聳えている。右から権現岳、赤岳、中岳と重なって、左端はどっしりした阿弥陀岳である。



西岳の右には後立山連峰から白馬岳等、北アルプスの山並みが見渡せる。

南側には南アルプスの甲斐駒ヶ岳から北岳、鳳凰三山が連なり、毛無山の上には富士山が聳えている。

さらに東には大菩薩連峰から国師ヶ岳、金峰山等の山々が波打っている。皆さんも素晴らしい眺望に圧倒され、言葉も出ないくらい感動していた。

ようやく我に返り、「す〜ごい景色だね〜」「あの山はなんて山？」と山の名前を聞いてくる。

しばらく山座同定をしながら眺望を楽しみ、記念写真を撮って青年小屋へ向かう。

山頂から北に向かって下り、巨岩の中の歩きにくい道を足跡を拾って降りると青年小屋の脇に出る。小屋の脇にはベンチとテーブルがあり、ランチタイムとする。ベンチとテーブルを借りてキノコうどんを作り、ゆっくりランチを楽しんだ。ランチを楽しんだらトイレを済



ませ、下山する。下山は東に巻道を進み、樹林の道を下ると押手川で往路に合わさる。途中、左側の谷を挟んだ斜面の紅葉が美しく、「ウワ～～綺麗」と歓声が上がる。

唐松の斜面が、日差しを浴びて黄金色に輝いていた。ここから雲海までは往路を辿り、雲海から右の展望台への道を下る。クマザサの道を下り、所々にドウダンや楓の紅葉が日差しを受け美しい。展望台周辺は楓の紅葉が綺麗だったが、展望はほとんどなかった。展望台から左に下ると、朝登った登山道に合わさり、右に進むと駐車場に

着いた。靴を履きかえ、トイレを済ませて帰路につく。帰りの八ヶ岳高原ラインの紅葉が素晴らしく、清里までは紅葉を見ながらドライブを楽しんだ。途中、野辺山で野菜直売所に2箇所寄り、野菜やお土産のリンゴを買い、佐久南ICに向かう。

佐久穂町辺りが渋滞したが、高速道は順調に走り、予定通り岩舟支所に帰着出来た。